

カリキュラムマネジメントの観点から、事前に保健における「けんこうな生活」の学習を振り返っておく。それにより、児童に運動の大切さを実感させるとともに、「ネット型ゲーム」を学習する意義をより一層理解させるようにしたい。

単元途中や単元後も他教科との関連を図りながら学習を進めることで、教科等の横断的な学びが実現するよう指導を進めていきたい。

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容のまとめりごとの評価基準	次の運動の行い方を知っていると同時に、易しいゲームをしている。 ・ネット型ゲームでは、基本的なボール操作とボール操作できる位置に体を移動する動きによって、易しいゲームをしている。	規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりしているとともに、考えたことを友達に伝えている。	運動に進んで取り組もうとし、規則を守り誰とも仲良く運動をしようとしていたり、勝敗を受け入れようとしていたり、友達の考えを認めようとしていたり、場や用具の安全に気を付けたりしている。
単元の評価規準	①ソフトバレーボールの行い方について言ったり、書いたりしている。 ②相手コートから飛んできたボールを両手もしくは片手を使って相手コートに返球することができる。 ③ボールの方向に体を向けたり、ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に移動したりすることができる。 ・ボールを両手もしくは片手を使ってはじくことができる。	① <u>誰もが楽しくゲームに参加できるように規則を選んでいる。</u> ②誰もが楽しくゲームに参加できるような作戦を選んでいる。 ③課題解決のために自分が考えたことを友達に伝えている。	①ゲームに進んで取り組もうとしている。 ②規則を守り、誰とも仲良くしようとしている。 ③用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ④勝敗を受け入れようとしている。 ・友達の考えのよさを認めようとしている。 ・場や用具の安全を確かめている。